

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
59	独立行政法人酒類総合研究所
題名(原題/訳)	
Overview of the epidemiology of pancreatic cancer focusing on the JACC Study. (JACC 研究をめぐる膵臓癌の疫学の概説)	
執筆者	
Qiu D, Kurosawa M, Lin Y, Inaba Y, Matsuba T, Kikuchi S, Yagyu K, Motohashi Y, Tamakoshi A; JACC Study Group.	
掲載誌(番号又は発行年月日)	
J Epidemiol. 2005 Jun;15 Suppl 2:S157-67.	
キーワード	
膵臓癌、コホート研究、糖尿病、喫煙、飲酒、コーヒー	
要 旨	
<p>膵臓癌は相対的にまれな癌であるが、死亡率が高く、病因もよくわかっていないことが多い、さらに初期発見のための膵臓癌のスクリーニングテストも存在していない。この論文では膵臓癌の疫学の概説を試み、JACC (Japan Collaborative Cohort Study) で得られた結果と以前の研究結果の比較を行ない、各種生活習慣と膵臓癌発病との関係を説明している。JACC は現在も進行中の大規模なコホート研究プロジェクトであり、約 11 万人の日本人を追跡調査中である。JACC の膵臓癌に関する報告として「Risk of pancreatic cancer in relation to alcohol drinking, coffee consumption and medical history: findings from the Japan collaborative cohort study for evaluation of cancer risk (2002)」、「A prospective cohort study of cigarette smoking and pancreatic cancer in Japan (2002)」、「Mortality in the JACC study till 1999 (2005)」がある。PubMed データベースで「膵臓癌 (pancreatic cancer)」、「危険因子 (risk factor)」、「疫学研究 (epidemiologic study)」をキーワードとして検索を行い、他の参考文献を調べた。JACC では関連の強さを Cox 比例ハザードモデルから得られるハザード比 HR (hazard ratio) で示している。多くの研究で糖尿病が膵臓癌のリスクを上昇させると指摘しているが、JACC でも糖尿病が男性において危険因子であり、HR が 2.12 であった。喫煙も多くの研究で膵臓癌との関連が指摘されているが、JACC では現在、喫煙をしている男性で HR が 1.6、女性で 1.7 となった。また、男性で 1 日に 40 本以上、喫煙をする人では HR が 3.3 となった。JACC では飲酒と膵臓癌の関係がないという結果であったが、これは他の研究でも同じ結果であった。多くの研究でコーヒー摂取は膵臓癌との関係がないことが示されているが、JACC では 1 日当り 4 杯以上のコーヒーを摂取する男性で HR が 3.19 に上昇していた。また、食品栄養摂取と膵臓癌との関係については多くの研究で明らかではなかった。以上より、糖尿病と喫煙は膵臓癌の危険因子であり、飲酒は危険因子ではないと考えられる。この他にも、家族歴、女性のホルモン因子、食事や栄養摂取、肥満、身体活動と膵臓癌との関係解明がさらに必要と思われる。</p>	